

# お話の学習指導案

## 教育目標

題名 ・ うさぎのさいばん

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：うさぎがちえで、ききにおかれたがくしゃをたすけるおはなしをたのしくきく。  
・ しゅだい：ちえ

キーワード ・ トラ、うさぎ、がくしゃ、さいばん、おん

韓国文化 ・ もくひょう：がくしゃがどんなひとなのか、りかいする。  
・ ようそ：がくしゃ、かきよ

### 韓国語

- ・ もくひょう：きょうみをもっておはなしをきいて、かんこくてきなひょうげんをならう。
- ・ たngo：선비 (がくしゃ)、호랑이 (トラ)、토끼 (うさぎ)、은혜 (おん)
- ・ ひょうげん：은혜를 갚는다. (おんをかえす。)



# 口演 活動内容



## ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！  
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、  
うつくしいお話のおばあちゃんです。



## 題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！  
"うさぎのさいばん"です。  
みなさんはともだちとけんかをしたことはありますか？わたしはじぶんのは  
なしがただしいといって、あいてはじぶんのはなしがただしいというときがあ  
りますね。そのようなとき、ほかのひとがふたりのうち、だれがただしいのかを  
はなしてくれたら、どうですか？さいばんというのは、だれがただしいのか、だ  
れがまちがっているのかをはんだんすることをいいます。ふかいやまのなかで、  
おきたうさぎのさいばん！どんなことがあったのか、おはなしのなかにはいつて  
みましょうか？



## お話の始まりの歌を歌う

"うさぎのさいばん"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！  
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい  
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？  
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

# 口演 活動内容



## お話を聞かせる

むかし、あるがくしゃが、かきょしけんをうけるためにたびにでていました。ふかはやまのなかを、とおりすぎるときでした。どこからか、トラのなきごえがきこえました。

“うおお、うおおー、、、”

“えらいことになった。ここのちかくにトラがいるみたいだ。”

ぶんかんはこわくてぶるぶるふるえて、いそいであるきました。

“うおお、うおおー、、、”

トラのこえがすこしずつおおきくなってきたのですが、どうしたことか、かなしくきこえました。

きになったがくしゃはひきかえして、トラのなきごえがするほうにあるいていきました。そこにいってみると、ふかいあなにおおきなトラがはまって、なみだをぽとぽとながしていました。

“うおお、うおおー、、、がくしゃさん、おねがいですからわたしをたすけてください。”

“わたしがたすけたら、おまえはわたしをたべるだろう？わるいが、じぶんでなんとかぬけだしてみろ。”

がくしゃがトラをおいてそのままさろうとすると、トラがあわてていいました。

“わたしをだしてくれたら、しょうがいそのおんをわすれません。おねがいですから、だしてください。”

トラがわあわあないて、おねがいしました。

“ほんとうだな？”

がくしゃはないているトラがかわいそうでした。

# 口演 活動内容



## お話を聞かせる

そのため、たすけてあげようとちかくにたおれていたおおきいきをもってきて、あなにほうりなげてあげました。

“さあ、きをふんであがってこい。”

トラはがくしゃがなげたきをふんで、あなからぴょんととびあがってきました。あなからでてきたトラはおもったより、たいかくがおおきかったです。がくしゃはこわかったのですが、おちついていました。

“そしたらわたしはもういくから、これからあなにおちないようにきをつけろ。”

そのとき、トラがつばをゴクっとのんで、がくしゃのまえをふさいだのです。

“うお! みっかもあなにとじこめられていたから、とてもおなかがすいている! おまえをつかまえてたべないとな。うお!”

トラはいのちをたすけてくれたおんもわすれて、がくしゃをたべようと思いました。

“いや、おんをかえすところか、わたしをつかまえてたべようとするのか?”

がくしゃはこわかったのですが、ゆうきをだしていいました。

“ひとがほったあながあるから、うえてしぬところだっただ。わたしがなぜ、おまえにおんをかえさないといけないんだ?”

トラがむりをとおして、がくしゃをつかまえてたべようと思いました。

“わたしをたべないと、やくそくしなかったのか。”

がくしゃはトラをたすけたことをこうかいしました。

そのとき、ちょうどうさぎがとおりました。がくしゃがトラにいいました。

# 口演 活動内容



## お話を聞かせる

“そこをとおりすぎるうさぎに、だれのいうことがただしいか、いちどきいてみよう。”

“わかった。あとからほかのはなしをしたらだめだぞ。”

トラはじしんいっぱいへんじをしました。うさぎもどうぶつだから、じぶんのみかただとかんがえたからです。

“うさぎ、うさぎ。おおきいみみをもったかしこいうさぎ。おねがだからわたしのはなしをすこしきいてくれ。”

がくしゃはうさぎにトラをたすけたはなしをしました。

“えーと、いまわたしにだれのことばがあっているのか、さいばんをしてくださいということですか？”

がくしゃのことばをさいごまできいたうさぎが、たずねました。

“そうだ、トラがかわいそうで、わたしがたすけてあげたら、おんもしらずに、わたしをつかまえてたべようとしたんだ。”

とへんじをしました。

“ひとがあなをほっておいたから、わたしがおちたんだ！それでなぜひとにありがとうをいわなければいけないんだ？うおお！”

トラがくちをちえっちえっとうちながら、いいました。

“トラさん、ところでそのあなをひとがほったのは、たしかですか？わたしがいちどみてみてもいいですか？”

トラはうさぎにあながあいたばしょをおしえました。うさぎはあなをみて、じつくりとかんがえてトラにいいました。

“ですから、トラさんがここ、このあなにおちていたんですか？”

# 口演 活動内容



## お話を聞かせる

“そう!わたしがこのなかにおちていたんだ!”

“ここのあなにどうやっておちてしまったのですか?”

うさぎがもういちどきくと、せっかちなトラは、あなにはいっていいました。

“わたしがこのようにおちていたんだ!”

“そしたらこのきも、もともとあなにあったのですか?”

“ちがうよ、このきはあっちがわにあったよ。”

めざといがくしゃがすばやくきをあなからだして、いいました。

“ああ、そうだったのですね。そしたらがくしゃさんはいま、いこうとしていた  
みちを教えてください。”うさぎがいいました。

がくしゃはうさぎにありがとうとあいさつをしました。

“なんだと?すぐにわたしをここからだせないのか!うおお!”

やっとうさぎのさくせんがわかったトラが、おおきくこえをだしていいました。

“おんもしらないトラだな。あなでじぶんのまちがいつでもくやんでおけよ。”

うさぎがいいました。おんをしらないトラは、あなにもういちど、はまってしま  
いました。

# 口演 活動内容



## 韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

さいごにもういちど、あなにはまったトラをみて、うさぎがなんといいましたか？そうですね。おんもしらないトラだといいました。わたしたちのそせんは、だれかがたすければ、うけとったのとおなじぐらいかえそうとしました。このようなとき、‘おんをかえす’といいます。しかし、トラはたすけをうけとったことも、しらないふりをしました。そのためにうさぎが‘おんもしらない’といったのですね。

みなさん、あなにはまったトラをだれがたすけましたか？

そうですね。かきよしけんをうけにいくがくしゃでした。チョソンじだいは、いっしょうけんめいべんきょうをするひとをがくしゃといいました。がくしゃはいっしょうけんめいべんきょうして、かきよしけんをうけました。かきよにごうかくすると、やくしょくになれますね。

がくしゃとかきよにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

# 口演 活動内容



## お話を整理する

みなさん、うさぎはだれのことばがたしか、どうやってしましたか？  
そうですね。うさぎはがくしゃとトラのはなしをさいごまできいて、あなをちよくせつみてみました。そのあと、だれのはなしがたしか、じっくりとかんがえてみました。また、いくつかしつもんで、トラをもういちどあなにはいせました。うさぎのちえはほんとうにすごくないですか？みなさんもだれかがたすけがひつようなときには、うさぎのようにけんめいにあいてをたすけてください。



## お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？  
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



## ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！  
みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。  
さようなら！